

(96) 四宮 茂晴, 大鹿 清司, (97) 山下 龍平, 花宮 廣務, (98) 上田 崇裕, 金森 恒雄, 坪田 幸政.

日本気象学会奨励賞受賞候補者推薦委員会
藤部文昭・山下 晃(担当理事), 加藤諠司, 高野功, 高橋忠司, 名越利幸.



平成11年度宇宙環境利用に関する地上研究公募のご案内

国際宇宙ステーションの宇宙における組立が本年11月から開始され, 本格的な宇宙環境を利用する時代を迎えようとしております。宇宙環境では, 微小重力や高真空等地上では得がたい環境の下で, 実験を実施することができます。

我が国は, 国際宇宙ステーション計画に独自の実験棟 (JEM: Japanese Experiment Module) をもって参加しており, 今後, このような宇宙環境を利用する機会が飛躍的に増大することになります。

一方, 地上での広範な分野の研究を宇宙環境を利用する実験に結びつけ, 更には具体的な宇宙実験の提案・実施に至るまで地上における関連研究の蓄積が必要です。

本制度は, このように JEM を中心とした宇宙環境を利用する準備段階として, 幅広い分野の研究者に研究機会を提供し, 宇宙環境利用に関連する地上研究を推進することを目的としています。

公募制度の概要

大学, 国立試験研究機関, 民間企業などの研究者の方々を対象に幅広く研究テーマを募集します。

公募対象研究分野 (以下の7分野)

微小重力科学, 生物科学, バイオメディカル, 宇宙医学, 宇宙科学, 地球科学, 宇宙利用技術開発

研究費

・フェーズ I 研究 (フェーズ I 研究 (A): 3千万円以下/年, フェーズ I 研究 (B): 6百万円以下/年, フェーズ I 研究 (B) 萌芽的研究 150万円以下/年) 宇宙環境の利用を指向した研究テーマについて, 宇宙環境利用の研究の有効性や研究手法, 実験手段等について, 理論研究, 調査検討や地上実験を行うもの。

・フェーズ II 研究 (1千万円程度～1億円以下/年) 宇宙環境を利用した研究の意義及び有効性が認められ, 研究手法や宇宙環境での実験に対する実験概念が明確に定義された研究テーマについて, JEM 利用テーマ募集への応募を目標に実験の計画作成及び実験装置等の要求仕様の設定を伴う本格的な宇宙環境利用に向けた準備段階にある研究を対象とします。

研究テーマの選定

財団法人日本宇宙フォーラム内に, 有識者によって構成される委員会を設置し, 応募された研究テーマの選定等を行います。

研究形態

研究形態としては, 委託研究(大学, 企業), 共同研究(国立研究所), 招聘研究の形態をとります。

研究期間

1年～3年

実験施設, 試験施設の提供

研究の必要に応じて調整の上, 落下塔, 航空機の微小重力模擬実験施設等の利用機会を提供いたします。

スケジュール

- ・応募締め切り: 平成11年1月29日(金)(消印有効)
- ・研究開始: 平成11年7月～

注記: 上記事項については, 11月下旬以降に詳細な応募要領等を下記ホームページに掲載する予定です。

問い合わせ先

財団法人日本宇宙フォーラム 公募研究推進部 募集担当

Tel. 03-3459-1653

Fax. 03-5470-8426

URL: <http://www.homepage.co.jp/jsforum>

e-mail: koubo@jsforum.or.jp